

カンパニー ナウ COMPANY 第829回 NOW!

ジェーピークリエイト

—多彩な技術で“情報”に新たな価値を創造

(株)ジェーピークリエイトが支持される理由。それは当社の構築するデータベースが各種印刷物やWebコンテンツなどへの製品化に優れていること。

それもそのはず、今から40年ほど前、“IT”と書けば“イット”と読むのが当たり前の時代、業界に先駆けてシステム化を推進するために印刷業者が集まり組織された協業組合が当社の前身だ。71年の電子写植システムの導入に始まり積極的にシステム化を進め、優れた編集システムや組版システムを備えているのもうなずける。特に「大量データのバッチ処理技術はクライアントより評価を頂いている」と当社の野田晃司社長は自信をみせる。複雑なデータ処理が必要でスピードも求められるバッチ処理技術は当社の大きな武器だ。

データベース構築が評価され、今では元となるデータ収集・加工も行うなど業務の幅を広げている。イベントや旅行、グルメなどの情報誌の発行を陰で支えているのは実は当社だ。情報は正確なことはもちろんのこと、古くてもダメ、少なくともダメだ。それゆえ取材先は多く、さらに確認事項は多岐にわたる。開催時期や規模に大きな変更のない花見や花火といった定番のイベントでも「駐車場料金や駐車台数の情報を盛り込みますが、想像以上に変更が多い」(野田社長)。また、取材先の広報担当者が一人何役もこなしていることから不在がちなことが多く、粘り強い取材が求められるという。

調査・編集業務が評価され、扱うデータの幅が広がり、雑誌などで定番のプレゼント応募の事務局も任されるようになった。いうまでもなく、扱うのは応募者の個人情報。デリケートか

野田社長。従業員教育に力を注ぐ



つナーバスなものを任されていることから、当社がいかにクライアント企業と信頼関係を構築してきたかが伺える。地味な役回りであるが、その責任は大きい。“縁の下の力持ち”の働きぶりだ。

今後、展開したい分野として事務局代行業業を挙げる。事務局代行で蓄えたノウハウを元に独自に事業展開を図ろうというもの。なかでも学会の事務局代行に注力している。大小様々な学会が存在しているが、会員の管理に始まり、各学会で設けられている各種資格の認定試験を実施している。さらには受験申込書類の開封作業から採点、合格証の発送まで行っている。これまで蓄えてきた当社のノウハウがいかに発揮されるどころだ。

印刷業を源流にデータベース構築、その有効利用・管理と事業の幅を広げてきたところで「基本を振り返ろう」と野田社長は号令を掛ける。特にここ数年は社員教育に重点的に取り組み、挨拶やマナーなど社会人の基礎を徹底的に見直したという。「会社が引き締まってきた」と野田社長、手応えを感じている。

(取材・文/東京支社情報部 牧 秀樹)

会社概要

(株)ジェーピークリエイト
 企業コード：986322346
 東京都港区西新橋3-6-2、電話03-5777-0460
 野田晃司社長
 設立：2002年7月、資本金：2040万円
 事業内容：データベース構築、印刷・出版サービス、システムインテグレーション
 年収入高：約3億800万円(2009年4月期)
<http://www.jpc.jp/>